

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日

| | | | |
|------------------|--------------|-----------|----------------------------|
| 上場会社名 | タケダ機械株式会社 | 上場取引所 | 東 |
| コード番号 | 6150 | URL | http://www.takeda-mc.co.jp |
| 代表者 | (役職名)代表取締役社長 | (氏名)竹田 雄一 | |
| 問合せ先責任者 | (役職名)取締役管理部長 | (氏名)岡安 勉 | (TEL) (0761)58-8231 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成26年10月15日 | 配当支払開始予定日 | — |
| 四半期決算補足説明資料作成の有無 | : 無 | | |
| 四半期決算説明会開催の有無 | : 無 | | |

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年5月期第1四半期 | 983 | 36.4 | 81 | 494.6 | 79 | 671.8 | 64 | 843.7 |
| 26年5月期第1四半期 | 721 | 40.6 | 13 | — | 10 | — | 6 | — |

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 69百万円(—%) 26年5月期第1四半期 3百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年5月期第1四半期 | 6.58 | — |
| 26年5月期第1四半期 | 0.70 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年5月期第1四半期 | 5,328 | 1,682 | 31.6 |
| 26年5月期 | 5,106 | 1,615 | 31.6 |

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 1,682百万円 26年5月期 1,615百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年5月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年5月期 | — | — | — | — | — |
| 27年5月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,970 | 11.1 | 179 | 24.9 | 166 | 25.2 | 144 | 33.3 | 14.82 |
| 通期 | 3,900 | 5.4 | 326 | △8.4 | 300 | △11.3 | 257 | △17.1 | 26.41 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 27年5月期1Q | 10,200,000株 | 26年5月期 | 10,200,000株 |
| 27年5月期1Q | 458,366株 | 26年5月期 | 458,366株 |
| 27年5月期1Q | 9,741,634株 | 26年5月期1Q | 9,730,296株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による駆け込み需要の反動や消費マインドの冷え込みの懸念、円安による原材料価格の上昇、建設業の人材不足問題といった影響はあるものの、継続する震災復興需要、建造物の耐震化に加え、東京オリンピックに係る需要、国土強靱化計画による防災補強及び更新計画、都市部を中心とした建設プロジェクトといった需要に支えられ、堅調に推移しております。

一方、海外経済においては、中国及びその他新興国経済は停滞しているものの、米国経済は引き続き堅調であり、欧州経済においても持ち直し傾向にあることから、概ね回復基調で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、「顧客視点のものづくり」を基本原点にお客様の喜びを追求するため、積極的な提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善に徹底して取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は983百万円(前年同期比36.4%増)、営業利益は81百万円(前年同期比494.6%増)、経常利益は79百万円(前年同期比671.8%増)、四半期純利益は64百万円(前年同期比843.7%増)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は560百万円(前年同期比32.3%増)、丸鋸盤は167百万円(前年同期比155.9%増)、金型は87百万円(前年同期比6.2%増)、その他は35百万円(前年同期比3.9%増)、部品は116百万円(前年同期比20.0%増)、サービスは15百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

なお、当社グループの事業は工作機械関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は5,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加となりました。

これは、主に現金及び預金が71百万円、受取手形及び売掛金が32百万円、たな卸資産が135百万円増加したこと、また固定資産が4百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は3,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円増加となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が73百万円、短期借入金が265百万円増加したこと、また長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が176百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加となりました。

これは、主に利益剰余金が62百万円、その他有価証券評価差額金が5百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月14日付「平成26年5月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 610,898 | 682,309 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,007,530 | 1,039,903 |
| 製品 | 613,023 | 697,512 |
| 仕掛品 | 205,021 | 247,769 |
| 原材料 | 278,403 | 286,518 |
| 繰延税金資産 | 75,016 | 61,301 |
| その他 | 10,153 | 10,607 |
| 貸倒引当金 | △240 | △164 |
| 流動資産合計 | 2,799,805 | 3,025,759 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 697,477 | 687,176 |
| 土地 | 1,021,729 | 1,021,729 |
| その他(純額) | 371,056 | 357,037 |
| 有形固定資産合計 | 2,090,263 | 2,065,943 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 40,583 | 43,873 |
| 無形固定資産合計 | 40,583 | 43,873 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 179,458 | 196,263 |
| 貸倒引当金 | △3,140 | △3,140 |
| 投資その他の資産合計 | 176,318 | 193,123 |
| 固定資産合計 | 2,307,165 | 2,302,940 |
| 資産合計 | 5,106,970 | 5,328,699 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 399,341 | 472,967 |
| 短期借入金 | 733,334 | 998,335 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 474,720 | 498,041 |
| 未払法人税等 | 44,412 | 7,631 |
| 賞与引当金 | 73,453 | 31,242 |
| 製品保証引当金 | 4,360 | 2,946 |
| その他 | 200,349 | 262,400 |
| 流動負債合計 | 1,929,971 | 2,273,563 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,370,102 | 1,170,666 |
| 繰延税金負債 | 62,514 | 62,701 |
| 役員退職慰労引当金 | 21,372 | 34,677 |
| その他 | 107,532 | 104,289 |
| 固定負債合計 | 1,561,521 | 1,372,334 |
| 負債合計 | 3,491,492 | 3,645,898 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,874,083 | 1,874,083 |
| 利益剰余金 | △177,777 | △115,496 |
| 自己株式 | △85,381 | △85,381 |
| 株主資本合計 | 1,610,925 | 1,673,205 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,552 | 9,595 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,552 | 9,595 |
| 純資産合計 | 1,615,477 | 1,682,801 |
| 負債純資産合計 | 5,106,970 | 5,328,699 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 721,375 | 983,990 |
| 売上原価 | 535,442 | 712,180 |
| 売上総利益 | 185,932 | 271,809 |
| 販売費及び一般管理費 | 172,176 | 190,019 |
| 営業利益 | 13,756 | 81,790 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 115 | 59 |
| 受取配当金 | 670 | 874 |
| 仕入割引 | 3,921 | 5,447 |
| 受取賃貸料 | 1,514 | 1,200 |
| 助成金収入 | 99 | - |
| 受取保険金 | 4,000 | - |
| その他 | 932 | 3,242 |
| 営業外収益合計 | 11,253 | 10,823 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,174 | 9,420 |
| 売上割引 | 3,233 | 2,881 |
| その他 | 1,331 | 1,042 |
| 営業外費用合計 | 14,739 | 13,344 |
| 経常利益 | 10,270 | 79,269 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 145 |
| 特別損失合計 | 0 | 145 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,270 | 79,123 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,102 | 3,535 |
| 法人税等調整額 | △1,629 | 11,447 |
| 法人税等合計 | 3,473 | 14,983 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,796 | 64,140 |
| 四半期純利益 | 6,796 | 64,140 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,796 | 64,140 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | △3,391 | 5,043 |
| その他の包括利益合計 | △3,391 | 5,043 |
| 四半期包括利益 | 3,404 | 69,183 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,404 | 69,183 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、工作機械関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。